

2025-26年度のための地区研修・協議会

第2部 部門別協議会

ローターアクト部門

日時：2025年4月5日（土）15:40～17:00

会場：大阪国際会議場 8階 801・802・804-806室

司会：次年度RA地区幹事 世古 愛音

（敬称略）

次第

- 配布資料・出席者紹介
- RACの自立について -アンケート結果をもとに-
直前ガバナー・地区危機管理委員長 延原 健二
- 危機管理について
直前ガバナー・地区危機管理委員長 延原 健二
- 補助金関連について
地区ロータリー財団委員会 委員 國次 孝平
- 挨拶
地区ローターアクト委員会 次年度委員長 新見 香
- 次年度について
地区ローターアクト代表エレクト 貴島 陵太郎
- 写真撮影
- 各部門（会長・幹事・会計・広報）

◆配布資料一覧◆

- ① RACの自立について 発表資料
- ② 危機管理について 発表資料
- ③ 補助金関連について 発表資料



資料一式はこちらのQRコードから閲覧・ダウンロードいただけます。

RA地位向上の現状と展望

－ 第3地域の提唱クラブとRACへのアンケート調査を通して －

国際ロータリー 第3地域

ロータリーコーディネーター 中川基成（あすかRC）

同補佐 杉川聡（広島西南RC）

大森克磨（大分キャピタルRC）

延原健二（大阪大淀RC）

アンケートの目的

RIは、2019年規定審議会において組織規定を改正し、RACを国際ロータリーの正式な加盟クラブと認めました。

その後も、RIは、段階的に地位向上を図るとともに、「RAの成長」運営計画を掲げて、RACの長期的な持続可能な成長を目指しています。

「RACでは、会員自らがクラブの運営と資金管理を行い、地域社会で意義ある活動や奉仕プロジェクトを企画・実施します。RACのスポンサーとなっているクラブは、奉仕のパートナーとして協力しながら、RACへの指導と支援を行います」（ローターアクトハンドブックより）

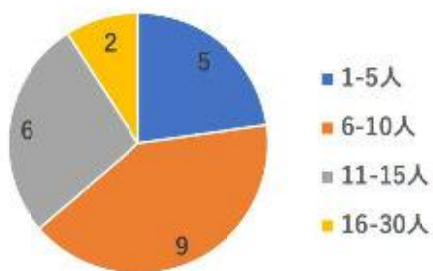
我が国の実態は、上記のRIの方針と乖離があるように思えます。

そこで、RACの現状を把握し、分析し、対応を見出すためにアンケートを実施いたしました。アンケートは、RAC向けとRAC提唱クラブ向けに別々に行われました。その結果をまとめましたので、今後の参考にさせていただければ幸いです。

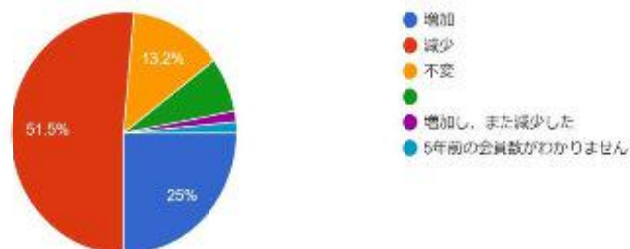
会員数 (RACアンケート)

よいことのために手を取りあおう

会員数 (回答 22クラブ)



5年前との会員数の増減
(回答 68クラブ)



クラブ運営 (財務) ・人頭分担金 (RACアンケート)

よいことのために手を取りあおう

年会費金額 (回答 59クラブ)



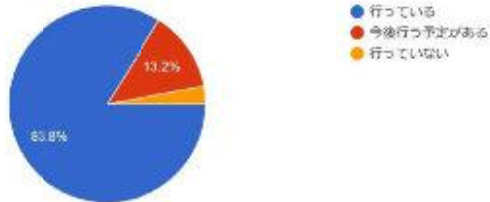
年会費支払方法
(回答 66クラブ重複回答あり)



人頭分担金の支払い方法
(回答 68クラブ 重複回答あり)



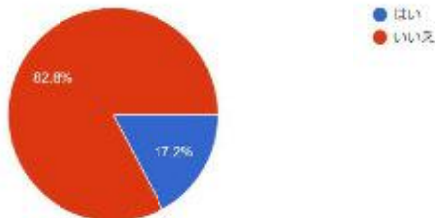
社会奉仕活動 (回答 68クラブ)



国際奉仕活動 (回答 64クラブ)



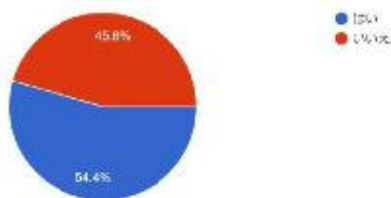
地区が設けた財団寄付目標達成 (回答 58クラブ)



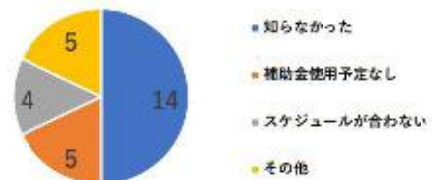
補助金活動 (回答 26クラブ)



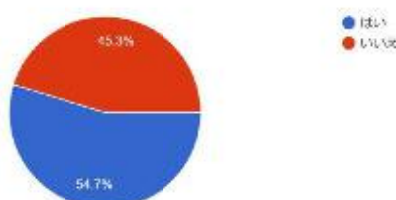
補助金管理セミナーへの出席 (回答 68クラブ)



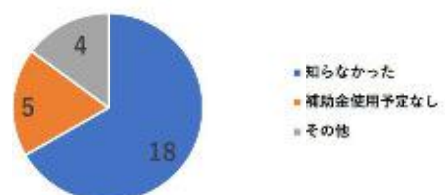
セミナー出席しない理由 (回答 28クラブ)



クラブ会長と会長エレクトのMOUへの同意 (回答 64クラブ)

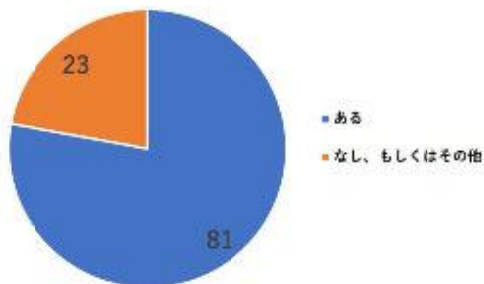


MOUに同意しない理由 (回答 27クラブ)



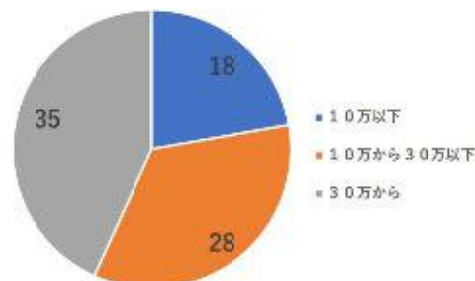
助成金の有無

（回答 104クラブ）



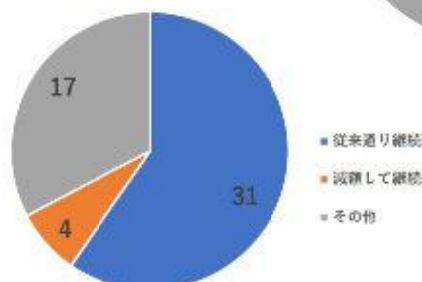
助成金額

（回答 81クラブ）



今後の援助金

（回答 52クラブ）



活動・財務において「ローターアクトの地位向上」が 出来ていない理由、問題点、今後の方針など （RACアンケート）

RA地位向上が図れない理由、問題点、今後の方針 （回答 42クラブ 重複回答あり）



参考となる意見

- ・とりあえず入るだけでいいからと入ってはみるものの、ルールや制度など理解してないものが大半のように感じる。法人会員は特にその傾向が強いとも思う
- ・大学スケジュールとの兼ね合いで予定を立てるのが難しい
- ・今後はアクトという団体の存続理由を理解し、まずは自立に向けて自クラブで収益を得るための活動を行って行きたいと思えます
- ・だんだん「ローターアクトの地位向上」を口にするアクターが増えている

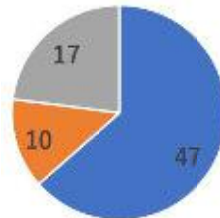
- ・提唱ロータリークラブとは、どうしても上下関係・支援するされる関係ができてしまうため難しい。よって国際ロータリがいくら理想論を述べようが、現実的に地位向上は難しいと思われる
- ・活動する際に提唱クラブからこうした方がよいああした方がよいと沢山言われるというクラブが多いように感じる。ロータリークラブが、ローターアクトのことをあたかも所有物かのように操るのはローターアクトの地位向上を妨げていると思う
- ・認識として親離れ子離れする意識は自立を促すのであれば必要かと思えます

地区委員会活動 (RACアンケート)

よいことのために手を取りあおう

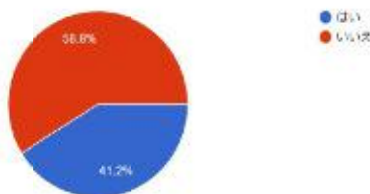
ローターアクター任命状況

(回答 68 重複回答あり)

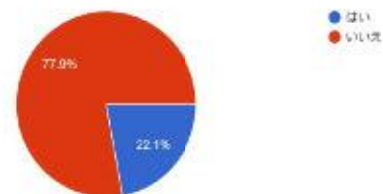


- ローターアクト委員会のみ
- ローターアクト委員会以外
- 全く任命されていない

地区ローターアクト代表が地区ローターアクト委員会の共同委員長を務めているか？
(回答 68クラブ)



地区ローターアクト委員会は、同人数のロータリアンとローターアクターで構成されているか？
(回答 68クラブ)

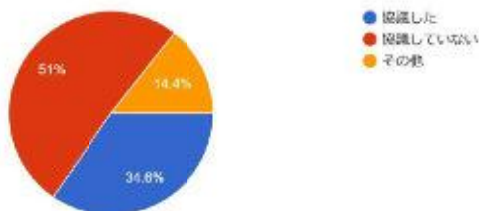


提唱クラブとRACとの協議の有無 (提唱クラブアンケート)

よいことのために手を取りあおう

参考となる意見

RAC地位向上に関する情報の確認や協議
(回答 104クラブ)



- ・ 立ち位置はRIの仰る通り。RCとRACの間柄は以前と変わらない
- ・ 提唱RACのメンバーはここ数年で総入れ替わりとなり、とても自立できる状況ではなく、提唱RCの更なる支援が必要
- ・ 5年後を目処に自立できる様にサポート
- ・ RIの決定に沿って運営する
- ・ 提唱クラブだけに頼らず自立のできる考えと活動をしてゆく具体的な方法はこれからである
- ・ RAC主体の補助金事業を立ち上げることを協議し、補助金も獲得し、遂行している
- ・ アクト会員も費用負担が増える事から会員の増強が難しくなるだろう

地区委員会活動において「ローターアクトの地位向上」が出来ていない理由、問題点、今後の方針など (RACアンケート)

回答 68クラブ 参考となる意見

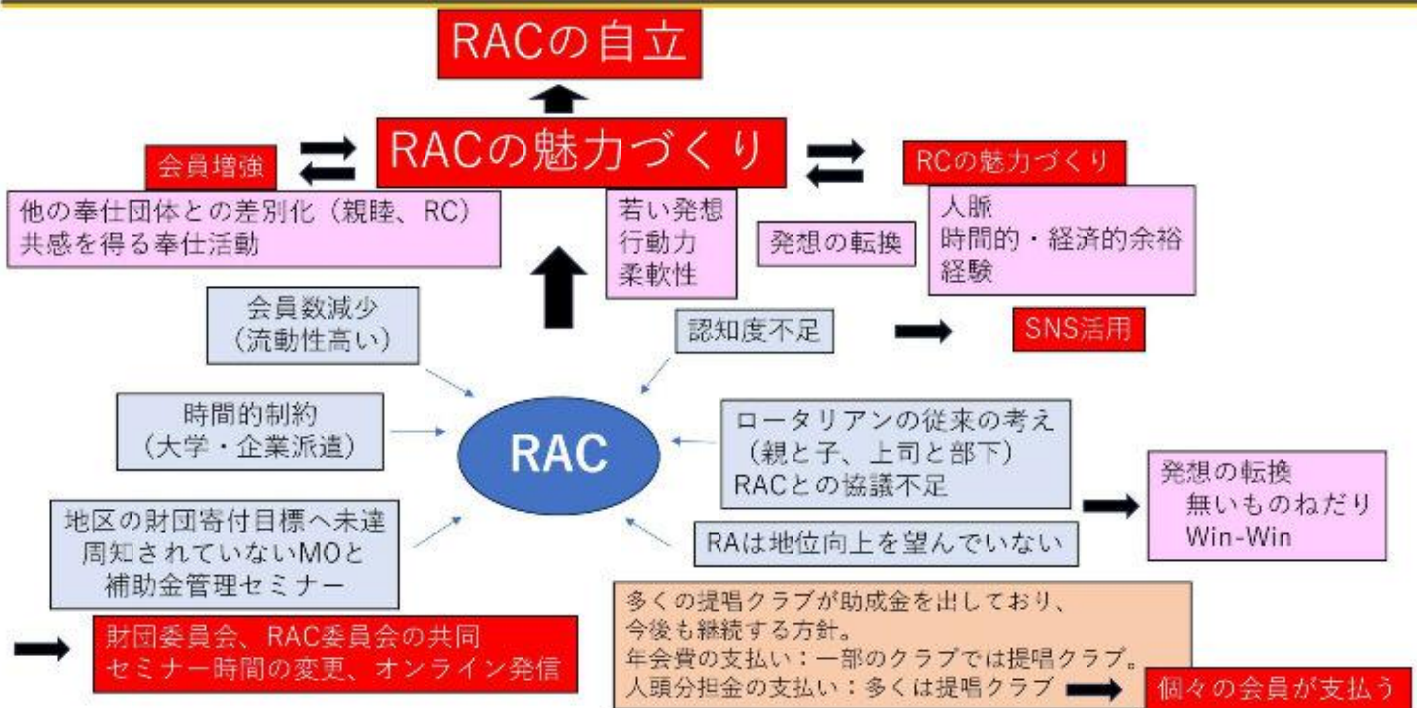
- ・会員数不足(計8クラブ)
- ・活動に充てられる時間がロータリアンに比べて少ない (計3クラブ)
- ・現在のローターアクターは地位向上を求めている
- ・今日、ローターアクトクラブに所属せずとも地域貢献や国際奉仕の活動に取り組む手段はいくらでもあります。ローターアクトクラブに所属する大きな利点は、ロータリアンと共に活動し、未来の指導者としての考え方を学ぶことができる点、またロータリーからの資金援助をもって活動できる点に収斂されると考えております。地位向上という文脈で後者の利点が失われる場合、数ある選択肢の中からローターアクトを選択する理由がなくなってしまう可能性もあります。現状の方向性では、ローターアクトの自然消滅という結末に至るものと考えます。
- ・ローターアクターは、ロータリアンの企業からの指示によって参加をしている会員がほとんどです。そのような状況の中で、地区の委員会に参加をさせることは賃金の負担、雇用も問題から要請することはできません。
- ・現状、地区委員会においては、ロータリーとアクトが上司と部下のような関係になっています。地区代表が委員会の一委員でしかなく、共同委員長になっていないことが要因と考えられます。(位置づけが変わる来期には改善されることを期待します。)

ローターアクトクラブの魅力づくり (RACアンケート)

回答 68クラブ 参考となる意見

奉仕活動 19、SNSなどの発信13、会員増強 11、交流・例会 8クラブなど

- ・社会的に意義のある活動を計画し、参加者にとって「意味のある貢献」を感じてもらえるような奉仕活動を実施することが大切です。例えば、地域社会の課題に取り組むプロジェクトや、国際的なボランティア活動を通じて、クラブの活動が社会に与える影響を実感できるようにすることが、メンバーのモチベーションを高めます。
- ・外国人観光客をターゲットにした募金活動(日本の伝統工芸を活用?)
- ・ローターアクトは、あくまで同好会的に、青少年が人生の経験値を高めるための活動を行う場とすることが限界であると思います
- ・“RACの魅力づくり”は会員増強が出来てこそだと思います。 会員増強はクラブだけの問題ではなく、地区レベルで真剣に取り組むべき組織存続に関わる重大な課題だと思います。致命的な人数になってから取り組んでも遅いので、今から10年後・20年後を見据えた地区レベルでの取り組みを望みます。
- ・現在はインターネット・交通網の発展により、様々な娯楽やコミュニティが存在し、簡単にアクセスが出来ます。その中から若年層がRACを見つけて興味を持ってもらえるよう、ターゲット層の分析を行い、適したSNSで適した表現でPRする等入り口を広げることは重要だと思います。
- ・私達ローターアクターも変わらないといけませんが、厳しいことを言うかもしれないが、それ以前にロータリアン個々も変わらないと良い方向には進まない。ローターアクトが地位向上したことによりロータリアンと同等になったことによって、私達が今まで築いてきた文化や伝統も、ロータリアンによる価値観によって容赦なく壊されているように思える。考えの押しつけも見受けられるし、そういった話も多方向から聞いている。





RACの 危機管理について

2025-26年度
RID2660危機管理委員会
委員長 延原健二

2025年4月5日 RID2660地区研修・協議会 部門別協議会 RA部門



RIの基本的考え方

ゼロトレランス（ゼロ容認方針）

国際ロータリーは、青少年に対するハラスメントや虐待は絶対に容認せず（ロータリー章典2.120.2）、すべての会員およびロータリーの会合、行事、または活動に出席または参加する個人は、いかなる形のハラスメントのない環境を維持することに力を注ぐべきであるとの方針を明らかにしています（ロータリー章典26.120）。

72時間ルール 青少年奉仕プログラム参加者すべてを対象

- ・ 青少年に対する虐待やハラスメント（嫌がらせ）の申し立てなど、報告を受けてから（報告が上がった場合）その真偽や重大性、刑事上の事件性があるなしにかかわらず72時間以内に報告するというものです。（ロータリー章典2.120.2）
- ・ 青少年交換プログラムにおいては、RIに報告すべき重大事故や重篤な疾病、死亡、早期帰国、犯罪などが発生した時にも72時間以内にRIに報告する必要があります。RI理事会は、個人、クラブ、地区が、適時の報告を故意に行わなかったことを知った場合、クラブを終結させる場合があります（ロータリー章典41.050.7）。
- ・ RIへ報告してその後、外部委員も含めた危機管理委員会で、真偽の調査や司法当局へ通知が必要かどうかを判断する。
- ・ 虚偽の報告とか、勘違いによる報告とか重大なトラブルではなく当地区内で十分解決できる事案であったなどの可能性もあるが、その後の手はずと調査の結果、および結果としてとられた措置について、再度RIに事後報告する。（報告は30日以内を目安とする。）

会合、行事、または活動における ハラスメントのない環境

ロータリー章典26.120. (2023年4月理事会会合)

ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでいる。

ロータリークラブまたはローターアクトクラブの理事会、地区、またはゾーンのリーダーは、ハラスメントの申し立てに迅速に対応するものとし、申し立てを行った者に対する報復をしてはならない。

ロータリークラブまたはローターアクトクラブでは、ロータリーの行事または活動におけるハラスメントの申し立ては、ロータリークラブまたはローターアクトクラブの理事会によって審査し、妥当な期間（通常は1カ月）内に回答するものとする。

違反の申し立ての対象者がロータリークラブまたはローターアクトクラブの理事会メンバーである場合、自ら審議から外れることが期待される。

ハラスメントの申し立てがロータリークラブまたはローターアクトクラブによって適切に対応されなかったという懸念は、該当する書類を用いて地区ガバナーに伝えることができる。

第2660地区 危機事案発生時の対応

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ
地区委員会、地区事業活動中

ゼロトレランス
・青少年に対するハラスメントや虐待は絶対に容認せず

① 危機事案発生

② 速やかに報告 ↓ ↑ ③ 助言、指導

ガバナー、地区危機管理委員会

・地区委員会及び地区事業の活動の中で発生した事案は地区内で解決する。
(但し当該者を地区に派遣しているクラブ会長に報告する)
・ロータリークラブ、ローターアクトクラブ内で発生した事案はクラブ主体で解決する。
(地区危機管理委員会は必要に応じて助言を行う)
・安否確認が必要な場合は、クラブ、地区委員会が確認し、ガバナー及び地区危機管理委員会に報告する。

③ クラブ内、地区委員会内で解決できない場合は、
危機管理委員会が対応

④ 必要に応じて
ガバナーから報告 ↓

・青少年に対する虐待やハラスメント（嫌がらせ）の全ての申し立ては、報告を受けてから（報告が上がった場合）その真偽や重大性、刑事上の事件性があるなしにかかわらず72時間以内に報告する。

国際ロータリー
クラブ・地区支援室



20歳未満の者が飲酒したら？

本人

- 飲食店などで飲酒
- 警察に補導
- 学校、保護者などに連絡
- 飲酒によるトラブルが原因となると、退学、解雇などの重い処分

一緒に飲酒した成人や監督者

- 監督代行者は、違反すると科料に
- 部活の監督・顧問などが学生を引率した合宿先で未成年飲酒を制止しなかった場合、監督代行者として罪に問われる可能性が高くなります。

ロータリアンの行動規範 全会員（ロータリアンおよびローターアクター）には以下のことが求められる：

- 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）の行動規範を遵守することが含まれる。
- ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。
- ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
- ロータリー関連行事のすべての行動規範に従う。

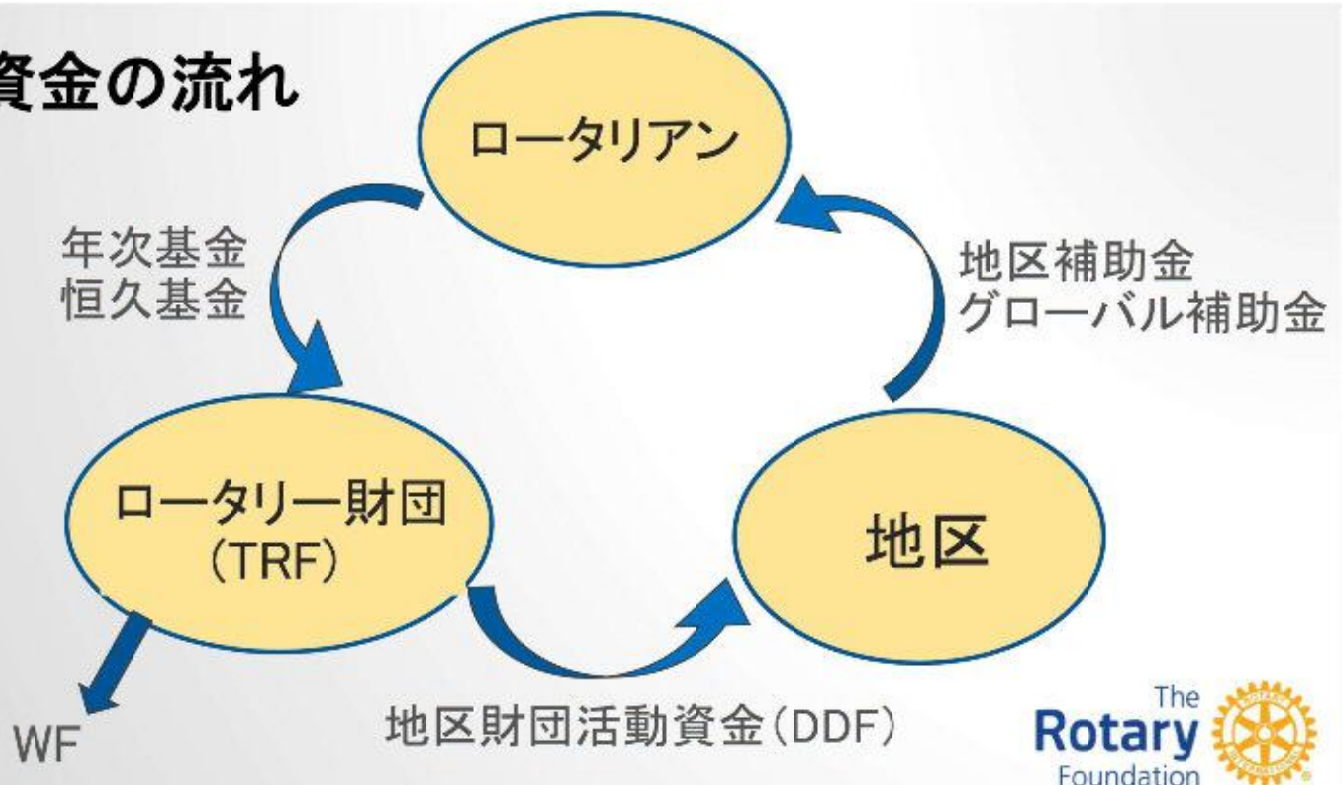
補助金関連について

2025年4月5日
地区ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長

國次 孝平(大阪北RC)



資金の流れ



補助金は、皆様からいただいたご寄付が原資なので
公平かつ適正に使用させていただきます

好き嫌いやクラブの大小で優遇したり
忖度することは一切ありません

「審査」と言う表現を使っていますが
「適正にチェック」していると認識しています

クラブの補助金事業をサポートするのが財団委員会です



申請前に必ず一読をお願い致します


- ・ 2024-25年度 財団補助金申請ハンドブック
- ・ 地区補助金 授与と受諾の条件
- ・ クラブ年次寄付実績（25-26）とDG配分率

国際ロータリー第2660地区



2024-25年度
財団補助金申請ハンドブック

RID2660地区ロータリー財団委員会

Rotary 

ロータリー財団 地区補助金 授与と受諾の条件

地区補助金は、地元や世界各地の地域社会のニーズに取り組み、比較的小規模の小団体、民間的な活動を支援する。これらの活動は、ロータリー会費が、入りの確保が最も重要で、質の高い教育を確保し、環境保護に取り組む、奨励をなくすことを通じて、世界規模、規模、平均を達成するよう支援するというロータリー財団の使命に合うものである。各補助金での活動を支援する中は、地区が決定する。

ロータリー財団は、内容をより明確にし、活動の効果を最大化するために、この授与と受諾の条件をいつでも修正することができる。2022年1月の変更には以下が含まれる：

- ロータリー財団が各クラブに提供する機会の提供（セクション1「受領資格のある活動」を参照）
- アムステルダムとプラジに支払われた補助金に関して、すべての経費の領収書を提出しなければならないことの新規定（セクション3「報告要件」を参照）
- 補助金を申し込んだ活動はロータリー財団に送金しなければならないことの新規定（セクション9「取り扱われた補助金」を参照）
- 補助金にかけられる利益の対応に関するロータリーの方針を明確化（セクション12「補助金に関する報告の対応に関する方針」を参照）

これはこの最新情報資料「グローバル補助金の授与と受諾の条件」を参照し、<https://rotary.org/districts> を参照のこと。

1. 受領資格のある活動

地区補助金の受領資格がある活動：

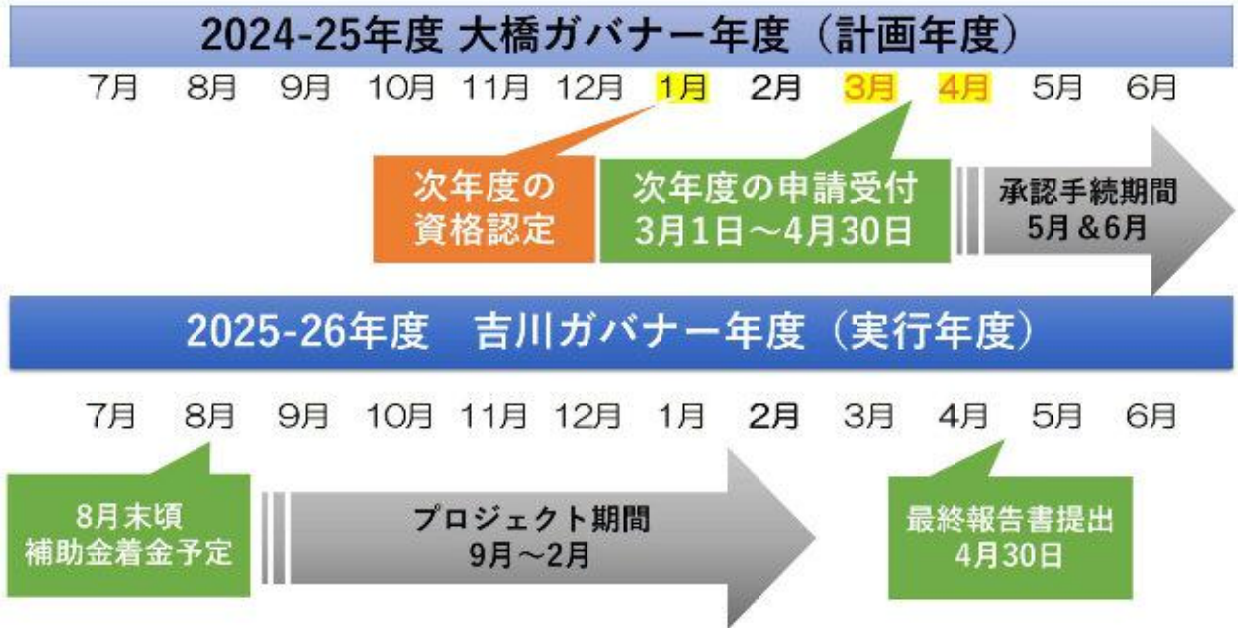
- ロータリー財団の使命に沿っていること。
- 以下を含む活動であること：
 - 地元または海外での非営利プロジェクト、および関連する旅行
 - 奨学金（教育のレベルは問わない）
 - 職業研修チーム（特定分野について教える、または学ぶ専門職研修者のグループ）、および関連する旅行
 - 奨学金と職業研修チームのオンラインセッション

申請書類は地区HP ロータリー財団委員会からDL



地区財団補助金の業務サイクル

地区補助金 = 2年度制の補助金



プロジェクトの目的を明確に

- Who 誰のために (受益者)
- Why なぜ (地域社会調査)
- What 何をするのか (プロジェクトの内容)
- When いつ (9月~2月頃)
- Where どこで(実施地/場所)
- How どの様にして (ロータリアンの役割)

5 W
1 H

* 申請書に書ききれない場合は別紙に記載

主な受益者

①人道奉仕

- ・社会的弱者と言われる人々（雇用・就学の機会や国籍・性別の違い、あるいは疾患などによって、所得・身体能力・発言力などが制限され、社会的に不利な立場のある人）への支援がより望ましい

②奨学生

- ・成績優秀な学生

③職業研修

- ・優秀な人材

（ハンドブックP8に掲載）

受益者の事例

- ・生活困窮者
- ・児童、子供、学生、青少年
- ・心身に障害をお持ちの方
- ・児童養護施設などの入居者
- ・こども食堂などを利用される方
- ・震災などにより被災された方（能登半島地震など）
- ・戦争や紛争などで影響を受けた方（ウクライナ難民）

地区補助金とグローバル補助金

補助金	概要
地区補助金 DG=District Grants	※地元海外で行う小規模で短期(1年以内に終了)の奉仕活動に活用 ※地区補助金申請受付期間 2025-26年度は、2025年3月1日～4月30日
グローバル補助金 GG=Global Grants	※海外における大規模で 成果の継続性のある活動 ※ 30,000ドル以上 のプロジェクト ※7重点分野で、活動が実施される国のクラブ(地区)とそれ以外の国のクラブ(地区)が協力して 測定可能な事業 を提唱する

地区財団補助金 (RAC)

(1年以内)

基本補助金額

	プロジェクト総額	クラブ負担額	補助金
社会奉仕活動	20万円以上	地区補助金申請額の10%以上	20万円～30万円
人道的国際奉仕活動	20万円以上	地区補助金申請額の10%以上	20万円～40万円
海外における地域社会調査のための旅行費用の補助	—		～30万円

* 寄付実績に基づいて減額される場合も。最低補助金は20万円です。

地区補助金申請の現状

10%



3月～4月の補助金受付期間において一回目の申請で承認されたクラブの承認率

主な修正依頼事項

- ・ 日付や署名(会長・次年度会長)の記入漏れ
- ・ 具体的なプロジェクト内容が記載されていない
- ・ ロータリー会員の積極的な活動(資金援助以外)
- ・ プロジェクトの実施日が補助金着金前(8月下旬予定)
- ・ 見積書の添付漏れ
- ・ 見積書のあて名がRC&RACでない
- ・ ロータリーレート(申請月、3月&4月)と異なる為替レートが記載

申請するクラブの中には…。

書くだけ書いて不備があったら財団委員会が修正を求めるだろう！

②プロジェクトの種類		社会奉仕		
③申請クラブ情報				
クラブ名	ロータリークラブ			
担当者名/役職	(役職)			
連絡先	電話:	メール:		
④プロジェクト情報				
a. プロジェクト名	9月1日~2月28日			
b. プロジェクト概要				
c. 実施期間	(開始)	年 月 日	~ (終了)	年 月 日
d. 受益者と人数				
e. 会員の積極的な活動 (資金援助以外)	1			
	2			
	3			

⑤利害の対立の回避と可能性の開示 (該当するものに✓を挿入ください) (補助金申請ハンドブック 12ページをご参照ください)	
a. 利害の対立の回避 (回避の場合はチェックを下記項目のチェックは不要)	<input type="checkbox"/> 補助金で購入する物品やサービスは、ロータリー会員の企業から調達しておらず、支援先もロータリー会員の運営・関与する団体や施設ではない <input type="checkbox"/> 補助金で購入する物品やサービスは、ロータリー会員の企業から調達する予定であるが、3件以上の相見積を取得のうえ調達を決めた (全見積書添付要) <input type="checkbox"/> 補助金で購入する物品やサービスは、ロータリー会員の企業から調達するが、これら物品やサービスが他では調達できないからである
b. 利害の対立の可能性の開示 (a. にチェックしない場合はb. のいずれかをチェック)	<input type="checkbox"/> ロータリー会員は
⑤以上は別紙に記載	
⑥プロジェクトの予算 (見積書は、クラブ宛に発行)	
支出	金額
①	
②	
③	
④	
⑤	
合計	0.0
申請月のレート ⇒	ロータリーレート US \$ 1 =
(RIレートは下記地図中で確認！)	合計 (米ドル) US \$ 0

⑤利害の対立の回避と可能性の開示 (該当するものに✓を挿入ください)
 (補助金申請ハンドブック 12ページをご参照ください)

a. 利害の対立の回避
 (回避の場合はチェックをし下記項目のチェックは不要)
 補助金で購入する物品やサービスは、ロータリー会員の企業から調達しておらず、
 寄附先もロータリー会員の通常の取引する団体や施設ではない

b. 利害の対立の開示
 (a)にチェックしない
 (b)のいずれかをチェック

金額を入力すると合計が自動計算されます

⑥プロジェクトの予算 (見積書のコピー添付要)
 (見積書は、クラブ宛に発行されたものが必要です。また外国語の見積書には、
 ください)

①	支出項目	通貨	金額
②			
③			
④			
⑤			
合計			0.0
ロータリーレート			US \$ 1 =
合計 (米ドル)			US \$ 0

申請月のレート ⇒
 (※レートは下記地区HPで確認し)

<https://www.rl2660.org/rate/>

⑦プロジェクトの資金調達 (非営利組織クラブにのみをのけてください)
 (昨年度のクラブ
 \$ 100-149は9%

金額を入力すると合計が自動計算されます

	金額
RI02660 地区補助金	
◎クラブ拠出金	
合計	0.0
ロータリーレート	US \$ 1 =
合計 (米ドル)	US \$ 0

申請月のレート ⇒
 (※レートは下記地区ウェブサイトで確認できます)

⑧クラブによる調達

クラブによる調達 補助金で購入する物品やサービスは、クラブ自身が調達し、
 協力団体や受益者に対する支払いを発生させない
 ↑確認後、チェックをお願いします。

㊦クラブの承認

() ロータリークラブ

2024-25 クラブ会長名		署名	
2025-26 クラブ会長名		署名	

↑ 必要項目は必ず印刷して直筆の署名をお願いします

㊦地区の承認

2025-26 ガバナー		署名	日付	
2025-26 財団委員長		署名	日付	
2025-26 補助金小委員長	木本 辰也	署名	日付	

自筆の署名を忘れずに

※負担軽減のため、必ず各項目記入漏れがないか確認の上、見積書と併せてPDFファイルで提出して下さい。御不明な点があればロータリー財団委員会までお問い合わせください。

黄色の欄に記入してください

水色の欄は自動入力されます

レイアウトを変更しないで

主な制約事項（継続事業について）

- 例① フィリピンの小学校に毎年トイレを寄贈する
今年「A小学校」、来年「B小学校」、
再来年「C小学校」・・・

トイレを寄贈するという同じ事業が続くが、
受益者が毎年変わる**ので継続事業には当たらない**

主な制約事項（継続事業について）

- 例② D児童養護施設に、毎年備品を寄贈する
今年「学習用品」、来年「生活用品」
再来年「エアコンなど」・・・

受益者が**同じ施設の同じ入居者**となり、過度な支援対象に該当します。

このような場合は、**期限を明確**にして支援してください。

（最長は5年くらいが望ましい）

申請書には「3年計画における1年目」など記載してください。

主な制約事項（継続事業について）

財団補助金は、最終的には支援対象の自立を目指しています。無期限の継続的支援により、受益者が支援に期待・依存してしまうことを避ける必要があります。

そのため、原則として複数年度にまたがる継続的支援は禁止。単年度での事業完了が求められます。

（ハンドブックP9に掲載）

2024-25年度 地区寄付目標

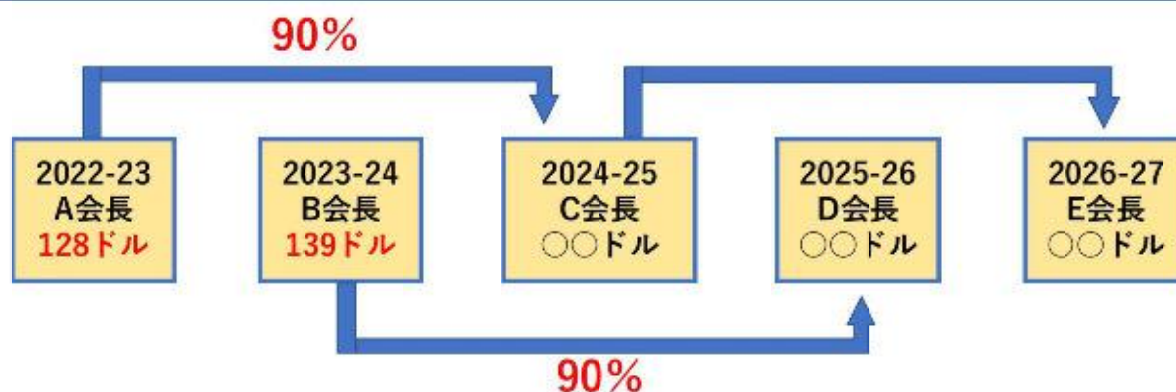
年次基金 150ドル

恒久基金 30ドル

ポリオ・プラス基金 50ドル



年次基金寄付実績と配分率はリンクしている！



99ドル以下	基本補助金額 × 80%
100～149ドル	基本補助金額 × 90%
150ドル以上	基本補助金額 × 100%

例) 事業費800,000円 (配分率90%)
 基本補助金額400,000円 × 90% = 360,000円

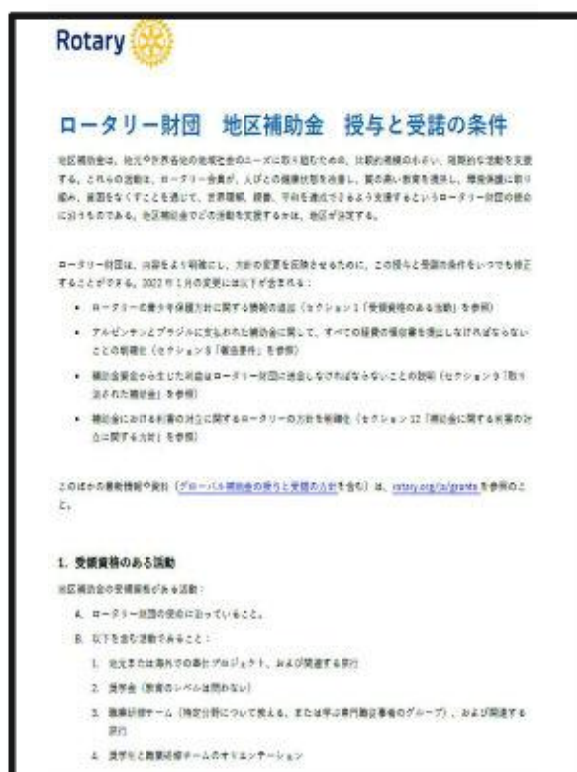
事業費 800,000円

地区補助金 360,000円	クラブ拠出金 440,000円
-------------------	--------------------

* クラブ拠出金は地区補助金申請額と同額以上

申請前に必ず一読をお願い致します

- ・ 2024-25年度 財団補助金申請ハンドブック
- ・ 地区補助金 授与と受諾の条件
- ・ クラブ年次寄付実績（25-26）とDG配分率



ご清聴ありがとうございました